

令和5年度（2023年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	泉佐野商工会議所	
	代表者職・氏名	会頭 金野 泰之	
	所在地	〒598-0006 泉佐野市市場西3丁目2番34号	
	担当者	職・氏名	中小企業相談所長 永田一夫
		連絡先	TEL（直通）： 072-462-3128
Fax： 072-463-8780			
E-mail： info@izumisano-cci.or.jp			
①設立年月日	昭和25年12月9日		
②職員数 （うち経営指導員数）	16名（経営指導員9名）（令和6年3月31日現在）		
③所管地域			
④管内事業所数	4983（令和3年度経済センサス）		
⑤管内小規模事業者数	3134（令和3年度経済センサス）		
⑥会員数（組織率）	1159（令和6年3月31日現在）		
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること			
□主な事業概要（定款記載事項等）			
1. 商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 2. 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 3. 商工業に関する調査研究を行うこと。 4. 商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。 5. 商工業に関する講演会又は講習会を開催する。 6. 商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。 7. 博覧会・見本市等を開催し、又はこれらの開催の斡旋を行うこと。 8. 商事取引に関する仲介又は斡旋、仲裁を行うこと。 9. 商工業に関して相談に応じ、又は指導を行う。			

(1) 事業の目標

物価高騰や深刻な人手不足等により、厳しい環境にある中、制度改正への対応他、激変する外部環境への対応のための諸課題を解決し乗り越えていくためには、生産性向上や新たな価値の創出など、経営基盤強化が必要である。そこで経営相談支援事業や専門相談支援事業、地域活性化事業を通し、小規模事業者の事業環境に合わせた適切な支援を行うことで、課題解決を目指す。また近年、増加している自然災害による脅威を乗り越え、事業を継続させるため、BCP策定支援に取り組む。「大阪・関西万博」については、様々なビジネスチャンスの創出に期待が寄せられるところであり、地域の中小企業に波及させるための取組を行う。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

経営者が成長意欲を持って、競合との差別化や販路開拓に果敢に挑戦するための事業計画支援により、中期的な企業成長に繋がる支援を行った。また財務分析支援を通じて資金繰りや販路拡大への課題を明確にし、その解決を図った。10月からのインボイス制度に向けては、制度の理解を深め、記帳支援により対応方法を検討しその方向性を探った。個人消費の回復に向けては、「泉佐野グルメガイド（ナイトマップ）」事業により、市内の消費喚起に寄与できた。専門相談支援事業では、専門家との連携により満足度の高い支援を目指した。特に知財については、特許や意匠の出願や商標に関する対応方法等につき相談支援を行った。地域活性化事業では、市内の消費喚起に寄与するための「泉佐野グルメガイド（ナイトマップ）」事業や「商工フェアIN泉佐野」等のイベント開催により販路開拓を目指した。また深刻な人材不足を解消し、中長期的な企業の成長に繋げるための「就労支援フェア」「就職フェア」「障がい者雇用に関するセミナー」の開催や「女性従業員活躍推進支援事業」の実施により経営基盤強化を図った。新たな地域経済の担い手の育成として「創業セミナー」を開催し、創業前の不安や疑問を解決に導き創業意欲の醸成と起業家の掘り起しを行った。新たなビジネスチャンスの創出を目指し「大阪・関西万博へ向けた中小企業支援事業」や「万博関連事業受注者登録システム説明会」を開催し、地域の中小企業に波及させる取組を実施すると共に機運醸成に繋げた。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

経営相談支援事業では巡回・窓口相談を通じて、経営課題を明確にし、その課題解決に繋げた。特に資金繰り支援では、早期にリスクを把握することで、金融支援やコスト削減支援による支援効率を高めることができた。又、事業計画に基づいた効率の高い販路開拓支援や金融支援を積極的に、後押しすることができた。事業計画支援を通じて、競合との差別化や戦略的に新たに取り組もうという経営者の成長意欲を高めることができた。巡回・窓口の相談件数は前年対比で約20%増加した。専門相談支援事業では、知財等の活用についての課題解決により、特許や商標等の知財を適切に保護し、競合他社との差別化を図り、今後の販路拡大に期待がもてるようになった。地域活性化事業では、「泉佐野グルメガイド（ナイトマップ）」において、コロナ禍でダメージの深かった飲食店の販路拡大を目指し実施した。コロナ前の水準には達していないが、アンケート等によれば事業者の実感として活況度合いの改善に一定の寄与をもたらした。「商工フェアIN泉佐野」では、大勢の市民の皆様に来場頂き、事業者においては直接、消費者からの声を聞くことで、今後の戦略策定についての材料を収集できた。人手不足や人材育成の課題については、「就職フェア」や「ビジネスコミュニケーションカアップセミナー」や「女性従業員活躍推進事業」等の実施により、経営基盤強化の一助となった。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

今後の人口減少による課題や既存事業に行き詰まりが見える中、新事業展開を模索している事業者は多く、解決がますます難しくなっている。小規模事業者のDX化への取組み等、あらゆる方向からの事業変革が求められるが、小規模事業者がDXにどう取り組むべきかの検討や、外部環境の変化により、資金繰りの悪化が懸念されることから、各種支援施策の活用や金融支援による資金調達、また各種人材育成により、経営基盤の強化を図る。

(5) 次年度の取組み

- ・労働力不足への課題解決に向けて、モチベーションアップやスキルアップ、メンタルヘルス等について取組む。
- ・BCPへの取組により事業中断リスクに備える。
- ・インボイス制度への対応は、まだまだ不十分であり、インボイス制度そのものを、理解されていないケースがあるため、通年適用となる今年度は、資金繰り支援をさらに充実させることにより、経営の安全性を高める必要がある。
- ・小規模事業者のDX化に向への意識の啓発とニーズ把握に取り組む。

I 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>経営者とのヒアリングを通じて課題を浮き彫りにし課題解決に向けて取組み、必要に応じて専門家や専門機関での支援により、満足度の向上に努めた。また各種支援施策を紹介し、事業者にとってのタイムリーな情報提供を行った。10月から始まるインボイス制度への対応について推進していくため、記帳支援を精力的に実施した。事業計画支援では、事業の問題点や経営課題を整理し、その方向性を明確にすることで、具体的な行動計画を構築でき、新たなチャレンジへの取組ができた。エネルギー価格の高騰をはじめ、各種の価格高騰の影響を受け収益が減少する中、将来の資金繰りへの不安が忍び寄り、財務分析支援やコスト削減支援等を活用し資金繰りリスクへの対応に取り組むと共に、資金調達等の金融支援で経営安全性を高めた。創業支援では、創業セミナーの活用や労務、記帳、事業計画支援、専門家活用等によりスムーズな開業に至った。</p> <p>【代表事例】 T社は事業年数は浅いが、信頼を得て売上は増加しているが、施工現場にて電線の窃盗が頻発し、やり直しの為、工事原価が増加し業績は赤字となり、資金繰りが悪化したことから、金融支援で対応した。盗難については、盗まれる前に“フタをしまう”ように施工の工程管理をしたり、元請側に警備を付けることを条件に請負うことにより、効果が上がっている。低利の長期資金を調達できたことで、キャッシュフローが改善し、危機を脱し、以後、利益確保が可能となった。</p>						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	214	281	131.3%	5	
支援機関等へのつなぎ	支援数	20	23	115.0%	5	
金融支援（紹介型）	支援数	28	20	71.4%	5	
金融支援（経営指導型）	支援数	51	53	103.9%	5	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	5	1	20.0%	3	
資金繰り計画作成支援	事業所	50	55	110.0%	5	
記帳支援	事業所	30	52	173.3%	5	
労務支援	支援数	50	59	118.0%	5	
人材育成計画作成支援	事業所	0	0		-	
マーケティング力向上支援	事業所	2	0	0.0%	0	
販路開拓支援	支援数	50	7	14.0%	3	
事業計画作成支援	支援数	49	29	59.2%	4	
創業支援	事業所	10	7	70.0%	4	
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	10	1	10.0%	3	
コスト削減計画作成支援	事業所	10	25	250.0%	5	
財務分析支援	事業所	45	45	100.0%	5	
5S支援	事業所	0	0		-	
IT化支援	事業所	10	0	0.0%	0	
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		-	
事業承継支援	事業所	10	1	10.0%	3	
災害時対応支援	事業所	0	0		-	
フォローアップ支援	事業所	40	0	0.0%	0	
結果報告	事業所	190	261	137.4%	5	
II 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>経営指導員が課題を整理したうえで、専門家へ繋ぐことで相談者の満足度アップに繋がっている。法律・税務・労働・知財等の課題に適した専門家を設置した。特に税務相談では、近畿税理士会との連携によりインボイス制度の対応や所得税・消費税の確定申告相談を実施し課題解決を図った。法律相談では、各種事業経営トラブル、知財相談では、特許出願等についての課題解決に繋がった。</p>						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談	継続	回数	10	7	70.0%	5
税務相談	継続	回数	12	25	208.3%	5
金融相談						
労務相談	継続	回数	4	7	175.0%	5
その他相談	継続	回数	4	7	175.0%	5

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>●販路拡大&ものづくり人材 「商工フェアIN泉佐野」では、ものづくり体験教室を通じて、若者にもものづくり体験の機会を提供し、次世代の事業者育成のきっかけになった。また物産展の開催により販路拡大の機会を広げることができた。「泉佐野グルメガイド（ナイトマップ）」では、自慢の料理や地域ならではの商品などの展示販売により、今後の販路拡大へのヒントを掴むことができた。</p> <p>●BCP策定ワークショップセミナー 災害や緊急事態に対するBCPの重要性を理解頂き、長期的な視点で事業を考え、災害が発生した後の復興がスムーズに進むように、その一歩を踏み出すことができた。</p> <p>●雇用対策と人材育成強化 「就労支援フェア」では、労働意欲がありながら高齢であることから就職が困難であるという課題と企業側のニーズを結びつけることができた。また「就職フェア」では、地域の優秀な若年者層の人材を確保したいというニーズと求職者を結びつけることができ、地域の雇用促進を図ることができた。「障がい者雇用に関するセミナー」では、障がい者雇用に取り組む際に、頼る機関や利用できる制度、採用ルートなど事例紹介等でより具体的に伝えることができ、取組意識が向上した。「ビジネスコミュニケーション能力アップセミナー」では、従業員の高齢化が進む中、従業員の定着支援、人材育成が急務となっており、企業としての組織基盤の強化に繋がった。</p> <p>●大阪・関西万博へ向けた取組み 「大阪・関西万博へ向けた中小企業支援事業」では、セミナーを通じて何らかの形で万博に関わりたいという変化をもたらすことができた。また「万博関連事業受注者登録システム説明会」では、万博の効果を泉佐野・田尻町の中小企業に波及させる事を目指し説明会を開催し受注者側の登録促進を図ることができた。</p> <p>●女性従業員活動推進 市場ニーズの多様化といった社会環境の変化に対応し、また女性が働きやすい職場、リーダー層が増えていく職場を目指し、セミナーを開催。それぞれが抱えている課題克服についての行動目標が明確になり、さらに一段階上のスキルを目指す機運が高まった。</p> <p>●創業セミナー（特定創業支援事業） 「創業セミナー（特定創業支援事業）」では、事業経営の基本を学ぶセミナーを開催し、創業準備をイメージできるようになったことで、総合的な地域の活性化に繋がった。</p>										
就職										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	商工フェアIN泉佐野	35	26	74.3%	80.8%	自社製品のPRに繋がった企業の割合	80%	84.6%	105.8%	5
○	女性従業員活躍推進支援事業	15	11.0	73.3%	86.4%	女性従業員が活躍し働きやすい環境整備を行う意欲が向上した企業の割合	70%	92.9%	132.7%	5
	泉佐野グルメガイド（ナイトマップ）	50	47.0	94.0%	72.3%	新規顧客の獲得へ繋がったと実感した企業の割合	70%	19.1%	27.3%	5
○	就労支援フェア（高年齢者雇用促進フェア）	15	16	106.7%	62.5%	採用に結びついた企業の割合	50%	53%	106.0%	5
○	創業セミナー（特定創業支援事業）	15	10	66.7%	90.0%	創業知識が深まり創業準備がイメージできた受講生の割合	50%	80.0%	160.0%	5
○	大阪・関西万博へ向けた中小企業支援事業	18	5	27.8%	80.0%	万博開催に向けて前向きな取り組みを検討する企業の割合	70%	40%	57.1%	3
○	万博関連事業受注者登録システム説明会	20	7.5	37.5%	50.0%	万博関連事業受注者登録システムへの登録意欲が高まった企業の割合	70%	75%	107.1%	4

(2) 広域事業 (幹事事業のみ)										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	BCP策定ワークショップセミナー	24	17	70.8%	100%	超簡易版BCP「これだけは！」シートを作成する企業数	16社	6社	37.5%	4
○	就職フェア(合同就職面接会)	37	41	110.8%	46.3%	若年者等との面談ができた事業所の割合	70%	53.6%	76.5%	5
	ビジネスコミュニケーション力アップセミナー～傾聴力を高める～	20	16.5	82.5%	94.7%	傾聴力が向上したと回答した企業の割合	70%	89.5%	127.9%	5
○	障がい者雇用に関するセミナー	15	17.5	116.7%	76.5%	障がい者雇用に対して取り組み意識が向上した企業の割合	70%	70.6%	100.9%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

泉佐野商工会議所

事業名	商工フェアIN泉佐野
想定する実施期間	H29 年度～ 年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	<p>事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)</p> <p>泉佐野地域では、タオルや農産物等、優れた特産品を生み出しているが、地域の産品をPRできる場が少なく、知名度が不足している感がある。商業分野に限らず工業分野においても認知度向上に苦慮する製造業者を支援し、販路拡大に繋げる必要がある。そこで本事業では、PRの場として物産展を開催し、製品の試用や体験により、よりインパクトのあるPRを可能とし、出展を通じて、出展スキルを身に付けることから、他の展示会への参加意欲を高め、販路拡大の機会を広めることができる。また同時開催イベントとして「ものづくり体験教室」を開催する。「ものづくり」に対する関心を高め、次世代の事業者育成のきっかけとなる場を提供する。また地元グルメの披露を行い、相互にコミュニケーションが取れる環境をつくる。「泉佐野」のブランド力を広く内外にアピールし、販路拡大に繋げていくと共に、地域に「商工のお祭り」を根づかせることで、参加される方々の様々な出会いにより、異業種の垣根を越えた関係をつくり、地域をさらに盛り上げたいという気運を高め、地域活性化に繋げる。</p>
	<p>支援する対象 (業種・事業所数等)</p> <p>泉佐野市・田尻町の商工業者35社の参加を想定</p>
	<p>実施時期・具体的な内容及び事業手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時 令和5年11月25日(土)・26日(日) AM11:00～PM4:00 ・会場 レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター前広場 他 ・実施内容 泉佐野周辺地域の事業所が、地域住民に対し「自社商品や製品の紹介」やお客様の「生の声を聞く」場として活用。地域住民においては、市内事業所や地場産業を知る機会となった。わがまち泉佐野の「誇れる事業所」を認識することで「事業所と市民」との共生意識の促進を図ることができた。出店事業者からの協力を経て、地場産品の抽選会を紹介。 ・来場者数 8,000人 ●「展示・販売・飲食等」 <ul style="list-style-type: none"> ①「商品・地場産業展示コーナー」・・・22社 ②「商品の販売・飲食コーナー」・・・17社 ③「地域の団体等のコーナー」・・・7団体(泉佐野警察署・泉佐野消防署・商工会議所青年部等) ●「ものづくり教室」 <ul style="list-style-type: none"> ①「大阪府技能士連合会」 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府印章技能士会による「石のはんこづくり教室」 25名(11月25日(土)) ・大阪府調理技能士会による「プロによるだし巻きのコツ料理教室」 30名(11月25日(日)) ②「泉州タオル染色・体験教室」(11月26日(日)) <ul style="list-style-type: none"> ・内容 「世界にひとつだけの タオル体験学習」(ダイワタオル協同組合他 協力指導) ・会場 レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター ・参加者 68名 ③「投扇興で遊ぼう」(11月25日(土)・26日(日)) <ul style="list-style-type: none"> ・内容 扇子を3回投げて、的に当たれば景品をプレゼント。 ・会場 レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの ・講師 レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの 学芸スタッフ ・参加者 263名 ④「段ボール迷路」(11月25日(土)・26日(日)) <ul style="list-style-type: none"> ・内容 段ボールで出来た迷路で遊ぶ。 ・会場 レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの ・講師 レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの 学芸スタッフ ・参加者 399名 ●「ステージショー」・・・「あわ踊り」「バトントワリング」「キャラクターショー」「フラダンス」「フルートアンサンブル」「ベリーダンス」他

		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携	大阪府人材育成課並びに大阪府技能士連合会と事業内容等、情報交換を行い、技能士会による「ものづくり教室」(大阪府印章技能士会・大阪府調理技能士会)を開催。							
	②広域連携								
	③市町村連携	泉佐野市の町会及び田尻町報を通じてPR活動に協力を得た。又情報交換等によりスムーズにすすめることができた。							
	④相談相乗	商工まつりに出店することで商品やお店のPRを行うことができ、販路開拓に繋がった。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	35.0	総支援企業数(実績)	26.0	支援実績率	74.3%	満足率	80.8%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>・今回は2日間に渡って第5回泉佐野商工まつりを開催した。その結果、来場者数は合計で8000人を超え、地域イベントとして根付きつつある。出店者からは、「自社商品のPRに繋がった」「会社・商品の知名度をアップすることができた」「消費者との新たなコミュニケーションが生まれた」等の感想を頂き、今後の販路の拡大へ向けての意欲を高めることができた。</p>							
		代表指標	自社製品のPRに繋がった企業の割合						
		数値目標	80%	実績数値	84.6%	目標達成度	105.8%		
	成果の代表事例	<p>・2日間開催したことで、多くの子供や女性の方に来場してもらうことが出来た。 ・回を重ねるごとに、参加者のディスプレイ等に創意工夫が見られ、来場者へ情報が伝わりやすくなっている。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)	3,150	目標値(実績)	5,784	目標達成度	183.6%			
	出店者の協力もあり、SNSやHP、テレビ等でPRを行ったことで多くの方が来場した。2日間開催したことで多くの方が来場した。								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>・多くの方にお越し頂けたが、第4回と比べて参加店の満足度が減少した。理由は寒い時期に開催をした結果、温かい物を販売している店舗と販売していない店舗で来店者数の違いが出てしまったからと考えられる。今後は比較的温かい時期での開催を検討している。</p>							

泉佐野商工会議所

事業名		女性従業員活躍推進支援事業							
想定する実施期間		R5 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	市場ニーズの多様化といった社会環境の変化への対応や少子化によるマンパワー不足を補うという視点だけでなく、女性を育てるための管理職としての取組みなど、多様な視点で学び、女性が働きやすい職場、リーダー層が増えていく職場を目指す。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	女性活躍推進に取り組みたい、会社の未来を担う女性リーダーを育成したい泉佐野・田尻町の全業種を対象							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	(第1日目) 開催日時 令和5年9月20日(水) PM2:00~5:00 場所 泉佐野商工会議所 講師 中小企業診断士 内容 ①私たちに期待される役割の変化 ②リーダーシップとコミュニケーション ③自分も相手も活かす個性発揮 ④思考スタイル別対応法 ⑤会社を見る視点の再確認 ⑥ビジネススキルの再確認(指示と報告・スケジュールで行動管理・マネジメントサイクル・広い視野で仕事を見る)							
		(第2日目) 開催日時 令和5年9月21日(木) PM2:00~5:10 場所 泉佐野商工会議所 講師 中小企業診断士 内容 ①仕事の質を高めるコミュニケーションスキル ②伝えたことと伝わったこと ③成長を支える「経験から学ぶ力」 ④私の成長記録 ⑤後輩指導の考え方とスキル ⑥成長を支える承認のスキル ⑦成長を支える上手な叱り方 ⑧私の成長目標と成長課 大阪府の人材支援施策の説明 一般財団法人 大阪労働協会 担当者より							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	(労働6番)大阪府施策「中堅・中小企業における女性の活用・戦力化支援事業」により、大阪府就業促進課女性就業推進グループとの連携により、企業向け施策の紹介等を行う。						
②広域連携									
③市町村連携	泉佐野市と田尻町の役所窓口において事業のPRでの連携								
④相談相乗									
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	11.0	支援実績率	73.3%	満足率	86.4%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	まずは、できることから少しずつ行っていききたい、すぐにできる自分の一番身近なところから行っていききたいという意欲が高まったことで、社内での業務改善の進捗度がアップすることへの期待感が高まり、多様な視点から女性が働きやすい職場、リーダー層が増えていく職場の実現に向けての前進スピードが高まった。							
		代表指標	女性従業員が活躍し働きやすい環境整備を行う意欲が向上した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	92.9%	目標達成度	132.7%		
	成果の代表事例	自分の成長目標を立てたことがないので、考えてみようと思う等、まずは、できることから少しずつ行って行きたいという意欲の高まりがあり、また参加型のセミナーなので、多くのことを気づく切っ掛けを得た等の意見を頂くことができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	実習を通して、相手とのコミュニケーションの重要性を実感でき、自分に足りていない部分を認識できたことで、コミュニケーションの戦略を立てる習慣を付けたい等、参加された方々のそれぞれの立場から、課題克服についての具体的な行動目標が明確になった。また同じような立場の方々との交流を通して、横のネットワークを拓けることができ、一段階上を目指す機運が高まった。今回、日程は半日開催の2日間というスケジュールであったが、2日間に亘ると仕事の調整が難しいという声を頂き、次回からは、丸一日での開催にて、より参加希望者の参加しやすい状況を確認していききたい。							

泉佐野商工会議所

事業名		「泉佐野グルメガイド」（ナイトマップ）							
想定する実施期間		H31 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	泉佐野市・田尻町周辺の夜間営業を行っている飲食店をガイドマップ形式で作成を行う。売上上位の商品を掲載することでお店の効果的なPRに繋げること、店舗を掲載するにあたって改めて自店舗の経営の見直しに繋げるようにすることは、昨年と同様である。新型コロナウイルス流行の影響により、地域の飲食店の客足は緊急事態宣言が明けた後も、完全には戻っていない。店舗の知名度向上を目指してガイドマップの作成を行い、新規顧客の増加へ繋げる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	前年度までの、「泉佐野市・田尻町内で駅周辺の飲食店」並びに「泉佐野長者バル」の参加店ネットワーク」に加え、商業地域等の外に立地する店舗にも積極的な声掛けを行い、50社を支援対象とした。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>泉佐野市内の小規模店を中心に募集を行い、グルメガイド（泉佐野ディナーマップ）を作成した。店舗ごとに売上のある商品を紹介することで、消費者にとって印象に残るような誌面構成とした。配布先は、各掲載店舗の他、ホテル・銀行・観光案内所・市町関連窓口等幅広く設定した。加えて、今年度新たにSNSのQRコードを掲載可能とし、誌面上に留まらない宣伝を行なった。</p> <p>【手法・時期】</p> <p>①令和5年6月：掲載店舗の募集開始（案内チラシや会議所月報の配布、職員による訪問等）</p> <p>②同年9月：誌面の校正作業を開始（各職員が各店舗に確認）</p> <p>③同年12月：冊子の印刷</p> <p>④同月下旬：配布開始（各掲載店舗の他、ホテル・銀行・観光案内所・市町関連窓口への配架）</p> <p>⑤令和6年2月：アンケート調査</p> <p>【参加店舗】57店舗</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	市民版の商工会議所ニュースを活用しPRを行なった。							
	④相談相乗	申込受付や書類授受の際に相談の掘り下げ等を行なったが、相談にはつながらなかった。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50.0	総支援企業数(実績)	47.0	支援実績率	94.0%	満足率	72.3%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>コロナ禍を経た2023年度であるが、第2四半期時点での活況度合いの回復率は83.8%（FBI（飲食料関連産業全体の活況度合いを把握できるように試算した指標、経済産業省）のうち、「飲食店、飲食サービス業（季節調整済）内訳系列の推移」による）であり、コロナ前の水準には達していない。中でも、「パブレストラン・居酒屋」の回復率は55～60%程度に留まる。これは「飲食店、飲食サービス業」全体と比べても、コロナ禍の影響を最も強く受けた2020年度第2四半期と同じ水準に及ぶ落ち込みである。</p> <p>実際に、当事業で実施したアンケートにおいても売上前年比が「増えた」と回答した事業所は7社に留まった。一方で34社は、当事業が「店舗のPRに繋がった」と回答している。コロナ前の水準に戻すには及ばないが、事業者の実感として活況度合いの改善に一定の寄与をもたらした。</p>							
		代表指標	新規顧客の獲得へ繋がったと実感した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	19.1%	目標達成度	27.3%		
	成果の代表事例	<p>①【郊外の比較的小規模なレストラン】</p> <p>客席に当該グルメガイドを配置していたところ、来店客が手に取って読んでいた。</p> <p>②【泉州地域で複数店経営する大衆店】</p> <p>他店に比べて多くの来店客が手に取り、要望に応じて120冊超を配付することができた。</p> <p>⇒いずれも、現実にPRにつながっている事例として挙げられる。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>実施したアンケートで課題として多く挙げられているのが、「販路の開拓」（33社）と「人材の不足・育成」（23社）である。</p> <p>「販路の開拓」の要請に応じて、次年度にも当事業を継続し、併せてシールラリーを実施する。掲載店舗で食事を購入した参加者にシールを配布し、一定数集まると当所窓口で景品を受取ることができ。消費をより積極的に促すことで、一層の新規顧客開拓や常連客の獲得に繋げる狙いである。</p> <p>人材については、売上が増えたと回答した7事業所の全てが「人材の不足・育成」を課題として挙げており、今後コロナ禍の影響の低減と比例して人手不足の問題が起きるとされる。当所としては泉佐野市が実施する求人システム、「いずみさのマッチボックス」等を周知している。</p>							

泉佐野商工会議所

事業名		就労フェア（高年齢者雇用促進フェア）								
想定する実施期間		H28 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	55歳以上の高齢者を対象に「高年齢者雇用促進フェア」を開催する。求人企業とのマッチングの場を提供する合同就職面接会をはじめ、講座や就労相談などを実施することにより、「高齢者」を中心とした求職者の雇用促進を図る。又、障がい者、母子家庭等の就職困難者の雇用促進も併せて図る。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野公共職業安定所管内（泉佐野市・熊取町・田尻町・泉南市・阪南市・岬町）の事業者又は、関西国際空港内、りんくうタウンの事業所等。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	・開催日	令和6年1月20日（土）PM1:00～4:00							
		・場所	エブノ泉の森ホール 2F							
		・内容	面接会、中高年齢者相談、障がい者就労相談、ハローワーク（職業相談・紹介陶）シルバー人材センター相談、福祉のお仕事相談コーナー、カードで職業適性診断コーナー シニア向け仕事説明会 {①株式会社 ドリームキャッチャー ②株式会社 第一管財}							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
①府施策連携	大阪府との連携により、中高年齢者雇用者等相談コーナーへの専門家の派遣依頼ができ、相談が可能となった。									
②広域連携										
③市町村連携	泉佐野市との連携により事業のPR活動及び当日のスタッフでの協力（市・広報 窓口）									
④相談相乗										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	106.7%	満足率	62.5%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	16社の事業所より、正社員、契約社員、パートを含めて151名の募集があり、その内11名が採用された。採用された方々は事業所でそれぞれの事業所の業務につくことができ、雇用促進の一助とすることができた。事業所においても、仕事の効率アップにつながった。 中高年齢者相談8名、障がい者就労相談3名、シルバー人材センター相談6名、農業セミナー及び相談 4名、ハローワークコーナー14名、福祉のお仕事相談コーナー4名 職業適性診断コーナー11名、 株式会社 ドリームキャッチャー仕事説明会、株式会社 第一管財仕事説明会 9名								
		代表指標	採用に結びついた企業数割合							
		数値目標	50%	実績数値	50.0%	目標達成度	100.0%			
	成果の代表事例	A社 正社員2名 B社 契約社員 2名 C社 正社員 2名を採用。								
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

泉佐野商工会議所

事業名		創業セミナー（特定創業支援事業）							
想定する実施期間		R2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	(現状・課題) 創業希望者が、創業に関する必要な知識を得て、専門家による客観的な批評と適切なアドバイスを受けることにより、「実現可能なビジネスプラン」が作成できるように、泉佐野市の認定連携創業支援事業者として、泉佐野市並びに地域金融機関と連携を図りながら創業支援に取り組んでいる。創業時に必要な経営・財務・人材育成・販路開拓等、事業経営の基本を学ぶセミナーを広域連携での実施とすることで、受講する機会を広く提供し、総合的な地域の活性化に繋がる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	起業を目指している方又は起業後、間もない方							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>8月29日(火)～④10月4日(水)の約1ヶ月間、トータル4日間の「創業セミナー」を開催した。独立開業を志す方や新たに事業を起こしたいと考えている方々を対象に、創業に必要な「経営」「財務」「人材育成」「販路開拓」の習得を目的として実践的、体系的に学んで頂いた。全ての講座を受講された方は、「特定創業支援事業を受けた者」とした。</p> <p>第1回 8月29日(火) 18時30分～20時30分 (経営) 創業を成功させる経営 売上、売上総利益、営業利益の基本的な考え方と経費、手掛ける商品の強み、弱みについて理解し、事業が成功するイメージづくりと事業計画について講義を受けた。 講師：(株)ビジネスサポート 代表取締役 中小企業診断士</p> <p>第2回 9月6日(水)18時30分～20時30分 (販路開拓) (人材育成) 創業に役立つマーケティングや、儲かる会社、強い組織にするための人材活用術について事業計画の立案には、どんぶり勘定ではなく損益分岐点を理解し、利益を出していける計画となるようアドバイスを受ける。また、従業員を雇入れる場合に必須となる社会保険と労働保険の成立について、加入条件等の講義を受けた。 講師：(株)ビジネスサポート 代表取締役 中小企業診断士 (社)全国労働保険事務組合連合会大阪支部 社会保険労務士</p> <p>第3回 ③9月22日(金)18時30分～20時30分 (財務) 事業計画書の記載について、動機や経験、ターゲットとする顧客や売上の根拠など具体的に落とし込みを行った。また事業の見通しと資金の調達方法について明確にするよう講義を受けた。 講師：(株)ビジネスサポート 代表取締役 中小企業診断士</p> <p>④第4回 ④10月4日(水)18時30分～20時30分 (経営) (販路開拓) (人材育成) (財務) 立案した事業計画について、それぞれ発表を行い、良い点、悪い点など意見交換を行い、ブラッシュアップを行った。 講師：(株)ビジネスサポート 代表取締役 中小企業診断士</p>							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	中小企業支援室商業・サービス産業課新事業創造グループと連携						
	②広域連携								
	③市町村連携	泉佐野市の認定連携創業支援事業者として、市役所等の協力を得て事業のPRを行い、参加者を募る。							
	④相談相乗	本事業終了後においても、創業の個別相談を行うことにより相乗効果を図る。							
事業全体の実績／日	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	10.0	支援実績率	66.7%	満足率	90.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	参加者の内、創業への準備が全く出来ていなかったが2名、取組状況が不十分であったが4名、不十分などところがあるが2名、全くできていなかったが2名の状況であった。 「創業までの具体的なイメージを持てた」や「接点のない人から意見が聞けた。客観的な視点が持てたため、ビジネスプランがブラッシュアップされた。」「創業計画書が作成出来るようになり、自分が思い描く企業に近づけた」との意識変化が生まれ、創業へのモチベーションが高まり、創業への課題解決への一助となった。							
	代表指標	創業知識が深まり創業準備がイメージできた受講生の割合							
	数値目標	50%	実績数値	80.0%	目標達成度	160.0%			

目標達成度	成果の代表事例	創業への取組が全く出来ていなかった状況から、セミナー参加により、接点のない人から意見が聞けた。客観的な視点が持てたため、ビジネスプランがブラッシュアップされた。また特定創業支援事業を受けたものとして証明書の交付を受けることとなった。				
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	セミナー自体の満足度は高。参加者はそれぞれの課題を持って参加され、その解決に向け前向きな姿勢で臨まれている。事業を立ち上げるうえで、スキルをアップする本格的な知識を吸収できるセミナーは有効である。具体的に創業に向けて特定創業支援事業を受けたものとして、行政に証明書を発行依頼する方が2名おられた。				

泉佐野商工会議所

事業名		大阪・関西万博へ向けた中小企業支援事業							
想定する実施期間		R5 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	万博の開催により、国内外からの来場者が見込まれるため、空港の街として有名な泉佐野市への影響は大きい。そのため、まだ先の話として考えている中小企業の方に、早いタイミングで意識を向けさせるだけでなく、パビリオン出展に向けた道筋を示すことで、新たなビジネスチャンスを見逃さないように意識改革を行う。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市内で事業を営まれている中小企業18社を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	●開催日時：令和5年4月24日（月）14：00～16：00 ●場所：泉佐野商工会議所 ●内容： <ul style="list-style-type: none"> ・大阪万博が与える泉佐野への影響について ・「リボンチャレンジ」の概要について ・サステナブルに基づく繊維・ファッション産業の未来共創プロジェクトについて ・パワースポットIN OSAKA 中小カンパニーについて ●講師：①泉佐野市大阪万博担当者 ②大阪産業局担当者 ③大阪商工会議所担当者 ④大阪中小企業団体中央会担当者 ●参加者：5社 ●集客方法：会報への掲載、会員向けDM発信、個別巡回・窓口配布にて行う。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	(商工関係)商-16 関連担当グループと連携しながら実施する。						
		②広域連携							
③市町村連携	窓口での配架によるPR等								
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	18.0	総支援企業数(実績)	5.0	支援実績率	27.8%	満足度	80.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	万博の開催についての情報がセミナー開催時点ではまだ収集できていない状況にあるが、セミナーを通して、何らかの形で万博に関わりたいという変化をもたらした。万博への関わり方についての情報が今後、益々広がってくることから、参加意識に変化が生まれそうである。							
		代表指標	万博開催に向けて、前向きな取り組みを検討する企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	40.0%	目標達成度	57.1%		
	成果の代表事例	大阪・関西万博にどのように関わっていくか、またそれにより地域にどんな変化が生まれるか、今後の地域経済への期待や夢を描くことができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	1社	目標値(実績)	0社	目標達成度	0.0%			
	「リボンチャレンジ」に応募する企業数								
実施結果	セミナーの内容は、地域の地場産業等との関わりを重視した内容であるので、参加された方にとっては満足度が高かった。しかし参加人数は計画よりもかなり少なかった。当地域と関連する事業の応募締め切りの都合もあり、4月開催という設定のため、PRの期間が短かすぎた。これからは万博への関心が、より高まってくることから、引き続き情報提供を継続し、万博による地域活性化に努める。								

泉佐野商工会議所

事業名		万博関連事業受注者登録システム説明会							
想定する実施期間		R5 年度～		年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること					
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大阪・関西万博開催の経済効果を泉佐野・田尻町内の中小企業に波及させることを目指すため、府内中小企業及びその商品・サービス・技術等を登録し、発注者側に提供する万博関連事業受注者登録システムが構築される予定である。受注者側の登録促進を図るために説明会を実施する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市内の中小企業・個人事業所を対象として20社を想定。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	泉佐野商工会議所において、万博商談もずやんモールについて大阪府の担当者とキャリアリンク㈱の職員を招き、万博商談もずやんモールについて内容が分からない事業所に対して説明会を実施した。							
		実施日：令和5年8月22日(火)14時～16時 場所：泉佐野商工会議所 4階 さくらホールにて実施 講師：大阪府経営支援課 職員、キャリアリンク㈱ 職員 参加人数：8名							
		【内容】 ・大阪・関西万博について ・万博商談もずやんモールについて ・万博調達コードについて ・商談までの流れについて							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携	大阪府の協力により説明会の講師を紹介いただいた。 大阪府経営支援課と連携。							
	②広域連携								
	③市町村連携	市民版の商工会議所ニュース等により幅広い周知が出来た。							
	④相談相乗	カルテ化に繋がる相談はなかった。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	7.5	支援実績率	37.5%	満足率	50.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	万博商談もずやんモールの内容や登録方法について事業主や企業担当者へ説明を行い、万博商談もずやんモールへの登録意欲を高めることができた。具体的には、万博商談もずやんモールの登録の手順や留意点について説明を行った。説明会を開催することで万博商談もずやんモールについて理解を深めてもらうことができた。							
		代表指標	万博関連事業受注者登録システムへの登録意欲が高まった企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	75.0%	目標達成度	107.1%		
	成果の代表事例	説明会終了後に万博商談もずやんモールに3社登録して頂けた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	講座の内容は、講師とよく相談をして難しすぎる内容にならないように気をつける必要がある。今回の説明会は分かりやすい内容であった。理解が深まった・少し理解が深まった事業所の割合も100%だった。 当日の参加者については8名だった。今後は、大阪府のメールマガジン等を活用すれば更に受講者を増やせるのではないかとと思われる。							

泉佐野商工会議所

事業名		BCP策定ワークショップセミナー							
想定する実施期間		H26 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	風水害や地震、新型コロナウイルス感染症など、企業を取り巻くリスクは増加し長期化しているが、その際に有効な手を打つことができなければ、事業縮小や廃業に追い込まれる恐れがある。しかしながら実際にはBCPの策定に取り組んでいる企業は、まだまだ少ないのが現状である。そこでBCPを策定していない、或いはBCPを策定したものの不安を感じている中小企業者を対象に、ワークショップ型のセミナーを通じて、防災対策、BCP策定の重要性・必要性を学び、その後の企業による本格的な取組に繋げる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市・貝塚市・熊取町・阪南市の広域連携にて実施。各市域のすべての事業所のうち、BCP・BCMについて知識や関心はあるが、策定には至っていない企業、BCPを策定する必要性は感じているが手順がわからない企業、BCPを策定はしたが運用がうまくいっていない企業を対象とした。24社（泉佐野7社・貝塚7社・熊取5社・阪南5社）を想定。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日時	令和5年12月6日（水） PMI:30~4:30						
		場所	泉佐野商工会議所 研修室						
		実施内容	大阪府施策連携、広域連携（幹事：泉佐野商工会議所）貝塚商工会議所・熊取町商工会・阪南市商工会にて実施。講師としては、当テーマに精通している専門家（東京海上ディーアール株式会社 担当者）を招き、ワークショップ形式にて開催。内容としては、①事業者を取り巻くリスク環境（BCPの概要・BCPの必要性）②参加企業周辺で発生しうる地震被害について③事業継続計画と事業継続マネジメントについて④中小企業のBCP策定における課題とBCPを策定したことによる効果⑤防災マニュアルとBCPの違い等について講義を行った。後半では、大阪府「超簡易版BCP『これだけは！』シート（自然対策版・新型コロナウイルス感染症対策版）を活用し、2種類のBCPを作成した。またBCP策定支援ツールの紹介も行った。						
		事業手法	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>						
①府施策連携		大阪府の経営支援グループと連携（商工NO.14「BCP/BCMの普及促進及び策定支援」）							
②広域連携	当所幹事、近隣の貝塚・熊取・阪南との広域連携事業として実施し、各所の会報やHPを通じて幅広く周知した。								
③市町村連携	市役所・町役場との連携を通じ、事業を周知した。								
④相談相乗	フォローアップ体制を整えた。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	24.0	総支援企業数(実績)	17.0	支援実績率	70.8%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	支援企業の内訳は、泉佐野2社・貝塚7社・熊取4社・阪南5社であった。受講者アンケートでは、今回のセミナーを受講した満足度は高かった。セミナー参加後の今後の取組については、「当社では策定できていないため、これをきっかけにしたい」という回答が50%あり、また現在、取り組んでいるが、これを機に内容を再検討したいという回答が50%となり、一定の動機づけができたと思われる。また取り組むにあたっての全体像が見えてきたので、今後の本格的な取組に役立てる一助になった。							
		代表指標	超簡易版BCP「これだけは！」シートを作成する企業数						
		数値目標	16社	実績数値	6社	目標達成度	37.5%		
	成果の代表事例	家具の固定、精密機器の固定、リモート中の停電を想定した準備、救護や備品の整理、人員の配置など準備することがたくさんあることを気づかされ、今後のやる気に繋がった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)				目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加頂いた方の満足度は高かったため、参加をもっと促すことができれば、動機づけを高めることができたと思う。内容は盛りだくさんであるが、3時間の長丁場であったため、業務との絡みでキャンセルになりやすく、開催時期や中身のコンパクト化が必要である。南海トラフ等、関心は高く、今後も粘り強くPRをしながらBCPの重要性を伝えていく必要がある。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	16社	支援企業数(実績)	6社	支援実績率	37.5%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	「BCP策定ワークショップセミナー」の開催において、支援計画企業数16社に対して、6社の受講参加があった。主な内容として①事業者を取り巻くリスク環境(BCPの概要・BCPの必要性)②参加企業周辺で発生しうる地震被害について③事業継続計画と事業マネジメントについて④中小企業のBCP策定における課題とBCPを策定したことによる効果⑤防災マニュアルとBCPの違い等について講義を行った。後半では、大阪府「超簡易版BCP『これだけは!』シート(自然対策版・新型コロナウイルス感染症対策版)を活用し、2種類のBCPを作成した。またBCP策定支援ツールの紹介も行った。セミナーの満足度は93.3%と高く、また受講後のアンケートにおいては、現在、取り組んでいない事業所においては、「これを機に取組を検討したい」との回答を得た。セミナー参加により、更なる関心が高まった。							
		指標	超簡易版BCP「これだけは!」シートを作成する企業数						
	数値目標	16社	実績数値	6社	目標達成度	37.5%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	8社	支援企業数(実績)	11社	支援実績率	137.5%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	「事業継続力強化計画策定セミナー」の開催において、内容として①事業継続力強化計画のスキーム②受けられる支援③泉佐野市の災害リスクについて④感染症のリスクについて⑤事業継続力強化の目標⑥自然災害等が発生した場合における対応手順⑦平時の推進体制の整備、訓練及び教育の実施他について講義を行い、後半では、計画策定を行ったことで、今後のより本格的な取組についての意欲が高まり、計画策定に繋がった。							
		指標	事業継続力強化計画等の策定						
	数値目標	8社	実績数値	11社	目標達成度	150.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

泉佐野商工会議所

事業名		就職フェア（合同就職面接会）							
想定する実施期間		H2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	現下の厳しい雇用情勢の中にあつて、これからの成長企業と若年者等の求職者のマッチング機会を設けることで、企業の人材獲得はもとより、地域の雇用促進をはかる。また学生等と中小企業とが直接交流することにより、中小企業への理解を深めて頂く。							
	支援する対象 （業種・事業所数等）	泉佐野公共職業安定所管内（泉佐野市・熊取町・田尻町・泉南市・阪南市・岬町）の事業所、又は関西国際空港内、りんくうタウンの事業所への参加募集を行う。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	・開催日 令和5年11月17日（金）PM1:00～PM4:30 ・会場 関西エアポートワシントンホテル 1F リヴァージュ ・内容 ①就職希望の中途採用者・パート・アルバイト・既卒者・大学生、短大生、専門学校生と求人企業が個別に面接を行う。 ②ハローワークコーナー ③労働相談・情報コーナー ④農業コーナー ⑤若年者就労相談 就職者へのPR新聞折込チラシ、近隣商業施設公共施設・掲示板等へのポスター掲示、立て看板							
		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携	大阪府商工労働部 雇用推進室 と連携を行い、労働相談情報コーナーを設置し、求職者への相談に繋いだ。						
		②広域連携	熊取町商工会・泉南市商工会・阪南市商工会、岬町商工会の協力で、参加企業数が確保できた。						
③市町村連携	泉佐野市、田尻町との協力体制により、ポスターの掲示及び市報・町報のPRを行った。								
④相談相乗	事業実施後に、カルテ化に取り組んだ。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	37.0	総支援企業数(実績)	41.0	支援実績率	110.8%	満足率	46.3%
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	ワークフェアに参加頂いた41社の中で、40名の応募があり、14名の採用に繋がった。採用された方々は各事業所でそれぞれ業務に就くことができ、雇用促進の一助とすることができた。また事業所においても、事業継続に必要な人材を確保することが出来た為、仕事の効率を上げることができた。							
		代表指標	若年者等との面談ができた事業所の割合						
	数値目標	70%	実績数値	53.6%	目標達成度	76.5%			
	成果の代表事例	泉佐野市で事業を営んでいるA社は本事業の参加により、当日は2人の方と面接を行い、1人の採用に繋がったとのこと。							
その他目標値の実績	目標値（計画）	120	目標値（実績）	70	目標達成度	44.1%			
	求職者数								
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	ザ・ワークフェア2023（合同就職面接会）の会場で、企業側と求職者側の双方の希望や条件も有り、採用に至ることは難しいが今後も1人でも多くの方と企業がマッチングできるよう継続して取り組んでいきたい。							

泉佐野商工会議所

事業名		ビジネスコミュニケーションカアップセミナー～傾聴力を高める～							
想定する実施期間		R4 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	IT化とネットワーク化で機械に仕事を奪われ、激化するグローバル競争と海外への業務アウトソースによってビジネス環境は大きく変化している。日本企業においても社員の専門性やスキルを高め、差別化商品や自社だけのサービスを生み出すことが可能な人材を育成しなければ、生き残れない時代となっている。また、人材育成は経営戦略の要として人事部だけの仕事ではなく組織的に取り組むべき最重要課題であると考えられる。そこで若手社員・中堅社員・人事担当者が業務を行なうにあたって必要なスキルを習得し、企業としての組織基盤の強化につなげていくことを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種は問わず、広域連携にて泉佐野市、岸和田市、貝塚市の各市域における事業所で勤務する全従業員を対象として、20社（泉佐野：10社、岸和田：5社、貝塚：5社）を想定。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日時：2024年2月28日（水）13:30～16:30 開催場所：泉佐野商工会議所 4Fさくらホール テーマ：～適切な情報を引き出し、成果を最大化させる！～傾聴力アップセミナー 講師：株式会社ミライフ経営総研 1. 傾聴力とは ①傾聴力はなぜ必要か②聞き手にとって大切な3つの姿勢 2. 傾聴技法 ①傾聴の際に意識すべきこと②傾聴技法③傾聴でやってはいけないこと 3. 傾聴の効果 ①部下の話をきくときの手順②傾聴の効果							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携	泉佐野・岸和田・貝塚のエリアにおいて会報・案内チラシ・HP等、PR活動の展開						
③市町村連携	各市町村の関係窓口での開催案内の周知								
④相談相乗	カルテ化に繋がる相談はなかった。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	16.5	支援実績率	82.5%	満足率	94.7%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	日々の業務を行なうにあたり、本セミナーを通じて、会社内での同僚や上司との業務連絡や日常会話、お客様との接し方も含めて、円滑なコミュニケーションを築くことができ、従業員の職場定着・離職防止になり組織基盤の強化につながった。							
		代表指標	傾聴力がアップしたと回答した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	89.5%	目標達成度	127.9%		
	成果の代表事例	本セミナーを受講して、今後若手社員の育成・定着について取り組みをしたい（検討したい）、これまでの取り組み内容を再検討したいとの意見をいただくことができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	アンケートの「日頃、仕事を進めていく上で、抱えている課題」の自由記述では、「職員間やお客様とのコミュニケーションの取り方について困っている」「新人教育について悩んでいる」等の意見をいただいた。こうした意見を参考に今後の事業に活かしていきたい。							

泉佐野商工会議所

事業名		障がい者雇用に関するセミナー							
想定する実施期間		R3 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	障がい者雇用における民間企業の法定雇用率が、令和3年3月1日以降さらに引き上げられたことで制度の対象となる事業主の範囲が、従業員43.5人以上に広がったことや少子高齢化社会において人材不足が予測されていることに伴い、障がい者雇用に取り組もうとする中小企業に対して、積極的な雇用の拡大の一助になることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の事業所に募集をはかり、業種は特定しない。 また、法定雇用率制度の対象事業所のみならず、関心のある事業所を幅広く支援対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	●開催日時：令和5年10月11日（水）14時～15時30分 ●内容：・障がい者雇用率制度、障がい者雇用納付金等の制度の解説 ・雇い入れる際の業務の切り出しや雇用管理について ・助成金や補助金の紹介及び申請等サポート機関の紹介 ・事例紹介（精神障がい者の雇用実績など具体的に設定した） ・大阪府の施策紹介 ●場所：泉佐野商工会議所 4階 さくらホール 及びオンライン ●講師：大阪府商工労働部 上席調査役の方 ●事例紹介事業所：1社 実施（精神・発達障害者の雇用実績ありの事業所） ●集客方法：会報への掲載、会員向けDM発信、ホームページへの掲載、個別巡回・窓口配布にて行った。							
		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携	大阪府商工労働部 雇用推進室 就業促進課の協力で、制度概要など細かに伝えることが出来た。また、周知協力を通じて幅広い周知が出来た。						
		②広域連携	岸和田、貝塚との3市合同で行うことで幅広い周知が出来た。						
③市町村連携									
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	17.5	支援実績率	116.7%	満足率	76.5%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	講座を通じて、障がい者雇用に取り組む際に、頼る機関や利用できる制度、採用ルートなど事例紹介等でより具体的に伝えることが出来た。それにより取組意識が向上した。							
		代表指標	障がい者雇用に対して取組み意識が向上した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	70.6%	目標達成度	100.9%		
	成果の代表事例	大阪府商工労働部 雇用推進室 就業促進課の担当者より障がい者雇用の基本・制度紹介について分かりやすくレクチャーして頂くことが出来た。また、障がい者雇用についての相談窓口である、大阪府障がい者雇用促進センターの案内を行った。事例紹介を通じてより具体的なイメージを伝えることができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	講座の内容は、過年度から問題提起していることについて同一の内容であったが、人材不足や多様性社会への課題意識が高まっている世相を反映してか、参加者数は大幅に増えた。また、満足率も昨年度より改善が見られた。次年度においては、少し内容も工夫して実施することで、過年度の参加事業所も再度参加して満足頂けるような内容にすることを検討する。							